

記入例

令和4年4月5日

奈良県知事 殿

所在地 〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地

申請者 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者 会長 山田 太郎



文化資源活用補助金交付申請書

団体印のみは不可。必ず代表者印を押印してください。

令和4年度に文化資源活用補助金の交付を受けたいので、下記事業について、文化資源活用補助金交付要綱第7条の規定により別紙関係書類を添えて申請します。

記

対象事業 (該当する対象事業に丸)	1 歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業 2 歴史文化資源の活用のための周辺整備事業 3 歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業
事業名	日本書紀を語る講演会
対象となる歴史文化資源名 (複数の場合はすべて記す)	●●神社 ●●中跡 ●●古墳
交付申請額 (1,000円未満切り捨て)	216,000 円
当申請事業と他補助金申請事業との重複の有無 (予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国宝重要文化財等保存整備費補助金 有 ・ 無 ・ 奈良県文化財保存事業費補助金 有 ・ 無 ・ 史跡等整備活用補助金 有 ・ 無 ・ 奈良県の他の補助金 有 ・ 無
文化資源活用補助金及び「記紀万葉」県民活動支援補助金における過去の採択回数	2 回

事業計画書、収支予算書の金額と矛盾のないよう記載してください。千円未満切り捨て

他補助金との重複がないか確認の上、○印を付けてください。

事業計画書

1	事業名	日本書紀を語る講演会																								
2	対象となる歴史文化資源名 (複数の場合はすべて記載)	●●神社、●●●史跡、●●古墳																								
3	事業目的	〇〇市及び〇〇郡に伝わる〜〜〜という伝承は、地域に昔から伝わり大事にされてきたものである。この伝承を県内外の多くの方に、より深く知ってもらうことで、地元住民の郷土意識や誇りの醸成を図ることを目的とする。																								
4	事業内容及び実施内容	<p>日本書紀にゆかりのある市町村で、講演会を開催する。また、講演会と併せて観光ボランティアガイドによるエクスカージョンツアーを実施し、ゆかり地の魅力を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回運営会議→講師の選定及び募集チラシのデザイン検討。 ・第2回運営会議→チラシのデザイン決定、チラシ納品後に募集開始。 ・第1回講演会→〇〇市文化会館にて講演会開催（定員200名） 〇〇市観光ボランティアガイドによるエクスカージョン開催（定員40名） ・第2回講演会→〇〇町文化センターにて講演会開催（定員250名） 〇〇町観光ボランティアガイドによるエクスカージョン開催（定員50名） ・反省会→反省点を振り返り、来年度開催に向けた検討を行う。 <p>〈新型コロナウイルスの対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒の実施 ・各会場において座席は1席あけることとし、客席数の定員で実施する。 ・新型コロナウイルスの感染が拡大し緊急事態宣言が発令されるなど、イベントの実施が困難となった時は、講演については無観客で動画を収録し、YouTubeなどホームページとFacebookで発信する。 																								
5	参加予定人数	600	人	6	事業の対象者	日本書紀に興味がある方																				
7	総事業費	730,000	円	8	交付申請額 (1,000円未満切り捨て)	216,000 円																				
9	事業期間	令和4年5月15日 ～ 令和5年2月23日																								
10	事業実施期間の終期は、事業の経費が全て支払い終わり、領収書が出揃う期間に設定してください。事業終了後の約1～2か月後と余裕をもって設定してください。 ※ただし、令和3年3月31日は過ぎないようにしてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月15日</td> <td>第1回運営会議開催</td> <td>〇〇会議室</td> </tr> <tr> <td>6月13日</td> <td>第2回運営会議開催</td> <td>〇〇会議室</td> </tr> <tr> <td>8月12日</td> <td>第1回講演会開催</td> <td>〇〇市文化会館</td> </tr> <tr> <td>10月14日</td> <td>第2回講演会開催</td> <td>〇〇町文化センター</td> </tr> <tr> <td>12月16日</td> <td>第3回講演会開催</td> <td>〇〇ホール</td> </tr> <tr> <td>12月23日</td> <td>反省会開催</td> <td>〇〇会議室</td> </tr> </tbody> </table>					実施内容	場所	5月15日	第1回運営会議開催	〇〇会議室	6月13日	第2回運営会議開催	〇〇会議室	8月12日	第1回講演会開催	〇〇市文化会館	10月14日	第2回講演会開催	〇〇町文化センター	12月16日	第3回講演会開催	〇〇ホール	12月23日	反省会開催	〇〇会議室
実施内容	場所																									
5月15日	第1回運営会議開催	〇〇会議室																								
6月13日	第2回運営会議開催	〇〇会議室																								
8月12日	第1回講演会開催	〇〇市文化会館																								
10月14日	第2回講演会開催	〇〇町文化センター																								
12月16日	第3回講演会開催	〇〇ホール																								
12月23日	反省会開催	〇〇会議室																								
11	事業内容の新規性又は従前事業の振り返り及び改善計画 (本補助金採択経歴のある団体は記載してください)	<p>【昨年度の振り返り】 昨年度の参加者アンケートの結果から地域への関心度をより高める必要があるとわかった。</p> <p>【今年度における新しい取り組み】 昨年度の振り返りを踏まえ、地域の持つ歴史文化資源に関心を持ってもらうために、今年度から講演会に加え、ボランティアガイドによるエクスカージョンを実施する。エクスカージョンの内容を講演会と関連付けることで歴史文化資源に対する理解度を深める。また、各地域ボランティアとの交流によって、それぞれの地域に対する参加者の関心度アップを目指す。</p>																								

様式1と同内容を記述してください。

事業の目的について具体的に記述してください

内容の詳細を記入してください

事業実施期間の終期は、事業の経費が全て支払い終わり、領収書が出揃う期間に設定してください。事業終了後の約1～2か月後と余裕をもって設定してください。
※ただし、令和3年3月31日は過ぎないようにしてください。

第4-2号様式(収支予算書)と矛盾のないように記載してください。交付申請額は千円未満切り捨て。

12	広報計画	各講演会の参加者募集について、以下の手段で実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ約〇〇〇部を配布 (奈良県内や大阪市、京都市の観光案内所、計〇〇〇カ所を予定) ・特設ホームページを作成し、掲載 ・Facebookへの掲載 ・〇〇市広報誌への掲載
13	事業実施による効果	【講演会とエクスカーションによる効果】 講演会とエクスカーションを通じて日本書紀の魅力を多くの人に伝え、〇〇市の歴史を体感していただく。特にエクスカーションでは、〇〇神社や〇〇史跡などあまり知られていない文化財も回ってもらうことにより、それぞれの地域が持つ歴史文化資源を知ってもらうきっかけとする。 【各講演会の様子を情報発信することによる効果】 各講演会実施後に、その様子をホームページやFacebookで情報発信することにより、講演会に参加していない方にも、〇〇神社や〇〇史跡などを知ってもらうきっかけとする。
14	実施体制	開催地である〇〇市、〇〇町、〇〇村には後援名義を申請し、広報誌などで広報していただく。
15	特記事項 アピールポイント	当団体は過去にも古事記に関する講演会の開催実績があり、参加者からの意見・要望や運営に関するノウハウがある。また、講演会とエクスカーションをセットで開催することにより、各地域が持つ歴史文化資源をより魅力的に伝えることができると考えている。

今年度の優先テーマに関
わるところ等記入してくださ

※適宜、資料を添付すること

(第4-2号様式)

収支予算書

収入の部		支出の部					
内訳		予算額	区分	内訳	予算額		
入 場 料 等 収 入	講演会参加料 400円×600名	240,000	補 助 対 象 経 費	報償費・旅費	講演会講師謝金 30,000円×3人 講演会講師旅費 5,000円×3人 ボランティアガイド交通費 1,000円×24人 運営スタッフ交通費 1,000円×10人×3回	90,000 15,000 24,000 30,000	
	エクスカージョン参加料 200円×120名	24,000		小計		159,000	
	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 支出は予め見積もり書を取り寄せるなどして、適正額で計上してください。 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 収入・支出ともに積算内訳を必ず記載してください。 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> 仕様・単価・数量も記載してください。 </div>			印刷費・広報関係費	チラシデザイン料 チラシ印刷（片面カラーA4）5円×3,000枚 講演会配布資料印刷（白黒A4両面） 5枚×20円×600人分 エクスカージョン配布資料印刷（白黒A4両面） 4枚×50円×120人分	10,000 15,000 60,000 24,000	
					会場費・設営費	会場使用料 ○○市文化会館 ○○町文化センター ○○ホール	150,000 150,000 100,000
					その他	封筒 10円×800枚 チラシ郵送料（300円×50箇所） 保険料	8,000 15,000 5,000
	小計	264,000		小計	小計	400,000	
	自己負担額	250,000		外 経 費	運営スタッフ昼食代 1,000円×10人×3回 講師昼食代	30,000 4,000	
	奈良県補助金申請額 (補助対象経費－入場料等収入)×1/2 上限50万円	216,000			小計		34,000
	収入総額	730,000		支出総額		730,000	

※収入総額と支出総額は一致させてください

団体調書

団体の名称	奈良の歴史大好き倶楽部			法人格がない場合でも、規約等と役員名簿が必要です。
活動の開始年月	平成24年	9月		
法人格	あり ・ 申請中 ・ なし (該当するものに○印をつけて下さい)			
認証・許可年月日	平成 年 月 日 所管庁			
所在地	〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地 TEL 0742-XX-XXXX FAX 0742-XX-XXXX E-mail rekishidaisuki@nara.jp URL http://www.○○○.com			
代表者職・氏名	職名	会長	ふりがな やまだ たろう	
			氏名 山田 太郎	
連絡責任者 連絡先住所	氏名 奈良 花子 TEL 080-XXXX-XXXX FAX 0743-XX-XXXX E-mail narahanako@nara.jp 〒639-XXXX 大和郡山市●●町△△番地			
設立の目的 と 現在の活動内容	当団体は、奈良特有の歴史素材『古事記』や『日本書紀』を通じて奈良の魅力発信や地域愛の醸成を目的として、『古事記』完成1,300年にあたる2012年を契機に設立した。現在は奈良市を拠点に、県内各地で講演会やウォークイベントなど様々な活動を行っている。 個人会員数 30人 団体会員 2団体 専従職員 10人			
団体の財政状況	■昨年度の決算	5,000,000 円	■今年度の予算	5,000,000 円
活動実績 (箇条書き)	【令和3年度の主な活動】 令和3年6月 古事記を語る講演会 (○○ホール) 令和3年9月 古事記を語る講演会 (●●文化会館) 令和3年11月 古の想いを辿るウォーキング会 (山の辺の道) 特に最近の活動内容について記載して			

備考	
----	--

(第6号様式)

事業実施体制

団体名 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者名 会長 山田 太郎

担当業務	氏名	団体での役職名	担当業務の詳細
総括・代表	山田 太郎	会長	全体総括
企画担当	●● ●●	副会長	講演会の企画責任者
企画担当	○○ ○○		エクスカージョンの企画責任者
企画担当	▲▲ ▲▲		講演会、エクスカージョンの企画・運営補助
広報担当	△△ △△		印刷物の発送責任者
広報担当	■ ■ ■ ■		印刷物のデザイン
広報担当	□□ □□		テレビ、ラジオ等での広報
渉外担当	◆ ◆ ◆ ◆		講演者等との出演交渉
総務担当	奈良 花子	事務長	事務・会計全般
監査担当	◇◇ ◇◇	監事	会計に関する監督

※役員及び職員のうち、この事業に関連する者について記入してください。

(第7号様式)

令和4年4月5日

団体目的等についての誓約書

団体名 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者名 会長 山田 太郎

印

当団体は、下記の全ての事項に該当することを誓約します。

交付申請書(第1号様式)と同じ印鑑を押印してください。

記

1. 奈良県内に事務所の所在地又は活動の拠点を有すること。
2. 政治活動を目的としないこと。
3. 宗教活動を目的としないこと。
4. 営利を目的としないこと。
5. 暴力団又は暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体でないこと。
6. 特定の公職者(候補者を含む。)又は政党を推薦し、支持し、又は反対することを目的とした団体でないこと。
7. 団体の全役員は、成年被後見人、被保佐人及び破産者で復権を得ない者のいずれにも該当しない者であること。
8. 文化資源活用補助金選定審査会の審査委員が、事業を実施する団体の一員でないこと。

※ 申請事業が、文化資源活用補助金交付要綱別表第1の(1)又は2の(1)、(2)若しくは(3)に該当する場合は、上記3を除く。

(第8号様式)

令和4年4月5日

奈良県知事 殿

所在地 〒630-XXXX 奈良市●●町△△番地

申請者 奈良の歴史大好き倶楽部

代表者 会長 山田 太郎

印

文化資源活用補助金事業指令前着手届

交付申請書(第1号様式)と同じ印鑑を押印してください。

文化資源活用補助金交付要綱第9条の規定により、下記条件を了承のうえ、届け出ます。

記

1 事業の名称

日本書紀を語る講演会

2 事前着手の理由

当該事業の実施が8月12日であり、交付決定の6月末までに、会場・講師の決定や広報のためのリーフレットの作成を開始する必要があるため。

3 着手及び完了予定年月日

着手 令和4年 4月 5日
完了 令和5年 2月 22日

着手年月日には、交付申請日以降の日付を記入してください。

4 条件

- 交付決定を受けるまでの期間に、諸般の事情により実施した事業に損失を生じた場合は、これらの損失は上記団体が負担すること。
- 交付決定を受けた交付金額が交付申請額に達しない場合においても、異義を申し立てないこと。
- 着手から交付決定を受けるまでの期間内に計画の変更を行わないこと。

(第9号様式)

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

文化資源活用補助金変更承認申請書

年 月 日付け奈良県指令文資第 号の で交付の決定を受けました下記事業について、別紙のとおり事業の内容を変更したいので、関係書類を添えて申請します。

記

対象事業 (該当する対象事業に丸)	1 歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業 2 歴史文化資源活用のための周辺整備事業 3 歴史文化資源の普及啓発のためのイベント事業
事業名	
変更の内容	
変更の理由	
交付決定額	
変更により増(減)額すべき 県費補助金の額	

(第10号様式)

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

文化資源活用補助金事業中止承認申請書

年 月 日付け奈良県指令文資第 号の で交付の決定を受けました文化資源活用補助金について、事業を中止したいので申請します。

記

1 交付決定通知の受領年月日 年 月 日

2 補助金の交付申請を中止しようとする理由

(第 1 1 - 1 号様式)

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

文化資源活用補助金実績報告書

年 月 日付け奈良県指令文資第 号の で補助の交付の決定を受けた文化資源活用事業が完了したので、文化資源活用補助金交付要綱第 1 4 条の規定により提出します。

(第11-2号様式)

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

文化資源活用補助金実績報告書

年 月 日付け奈良県指令文資第 号の で補助の交付の決定を受け、
年 月 日付け奈良県指令文資第 号の で変更の承認を受けた文化
資源活用事業が完了したので、文化資源活用補助金交付要綱第14条の規定により提出
します。

(第12-1号様式)

事業実績報告書

1	事業名			
2	対象事業 (該当する対象事業に丸)	1 歴史文化資源の活用につながる保存・修理事業 2 歴史文化資源活用のための周辺整備事業		
3	対象とした歴史文化資源の名称 (複数の場合はすべて記載)			
4	実施内容			
5	事業スケジュール	月日	実施内容	場所
6	事業完了年月日			
7	事業実施成果			
8	事業効果の 継続的な測定指標			
9	地域における 今後の活用計画・方針			
10	総事業費			
11	交付決定額			
12	実績に基づく申請額			
13	その他参考事項			

(添付資料) 竣工写真等、工事請負契約書及び委託契約書の写し、実施内容がわかるもの

事業実績報告書

1	事業名			
2	対象とした歴史文化資源の名称 (複数の場合はすべて記載)			
3	実施内容			
4	事業スケジュール	月日	実施内容	場所
5	事業完了年月日			
6	事業参加者数実績			
7	広報実績			
8	事業実施効果			
9	今年度事業の振り返り、 改善計画の結果及び 今後の活動計画			
10	総事業費			
11	交付決定額			
12	実績に基づく申請額			
13	消費税等仕入控除税額確定報 告書提出予定年月			
14	その他参考事項			

13について、返還額が0円の見込みの場合も必ず記載の上、第16号様式を提出すること。

(添付資料) チラシ、写真、アンケート結果等、実施内容が分かるもの

(第13-1号様式)

収 支 精 算 書

1 収入

区 分	予算額	実績額	増減額
計			

2 支出

区 分	予算額	実績額	増減額
計			

(第13-2号様式)

収支精算書

収入の部		支出の部			
内訳		実績額	区分	内訳	実績額
入 場 料 等 収 入			報償費・旅費		
				小計	
			印刷費・広報関係費		
				小計	
			会場費・設営費		
			小計		
			その他		
				小計	
小計			小計		
自己負担額			補助対象 外経費		
奈良県補助金申請額					
			小計		
			支出総額		

※収入総額と支出総額は一致させてください

(第15号様式)

補助金請求書

請求金額 円

ただし、 年 月 日付け文資第 号の で補助額の確定通知のあった文化資源
活用補助金

上記のとおり、文化資源活用補助金交付要綱第15条第2項の規定により請求します。

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

振込銀行口座	銀行名 : 支店名 : 預金種別 : 口座名義人(カ) : 口座番号 :
--------	--

(第16号様式)

年 月 日

奈良県知事 殿

所在地 〒

申請者

代表者

印

文化資源活用補助金に係る消費税等仕入控除額確定報告書

年 月 日付け文資第 号の で実績の確定を受けた文化資源活用事業について、消費税等仕入控除税額が確定しましたので、文化資源活用補助金交付要綱第16条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業の名称
2. 補助金額（交付要綱第 条による額の確定額）
3. 補助金の確定時における補助金にかかる消費税等仕入控除税額 円
4. 消費税及び地方消費税額の確定に伴う補助金にかかる消費税等仕入控除税額 円
5. 補助金返還相当額（4－3） 円

※5. が0円の場合、該当理由にチェックを入れること。

地方自治体である。

宗教法人等で特定収入割合が5%超である。

簡易課税方式である。

消費税の確定申告義務がない。

個別対応方式で、補助対象経費にかかる消費税を「非課税売上のみ」に要するものとしている。